

3 参考資料

「令和2年度 ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組」の概要について

評価グループと総合評価の評語

評価グループ

各ハローワークごとの業務の実施状況をポイント化し、労働市場の状況（労働力人口、事業所総数）や業務量（各種紹介件数等）が同程度のハローワークのグループの中で比較。グループごとに所重点指標の選択数が異なる。

評価G	県内各ハローワーク(G)	選択数
1		9
2, 3	山形所(3)	7
4, 5		5
6~8	米沢所(8)、酒田所(7)、鶴岡所(8)	4
9~11	新庄所(11)、長井所(10)、村山所(9)、寒河江所(9)	3

総合評価の評語

評価グループ内で、ポイント総計が高いハローワークから順に、類型1から類型4に分類し、総合評価の評語を決定。

（令和2年度 各ハローワークの評語）

類型2：山形、酒田、鶴岡、寒河江所

類型3：米沢、新庄、長井、村山所

※令和2年度評価結果（標語）については、新型コロナウイルス感染症の影響下での結果のため、参考扱いとしている。

類型	Pt 総計	総合評価の評語
1	高 い	非常に良好な成果
2	やや高い	良好な成果
3	やや低い	標準的な成果
4	低 い	成果向上のため計画的な取組が必要

令和2年度における取組事例

増加するオンライン面接を想定した面接対策セミナーの実施

取組の契機

コロナ禍でオンラインでの面接を導入する企業が増加。このため、オンライン面接に不安を感じる求職者への支援として、通常の面接対策に加え、オンライン面接を想定した面接対策の取組を実施。

山形労働局ハローワーク米沢（8G）

「面接対策塾」の実施

主にフリーターの方や、久しぶりに求職活動を行う求職者等を対象に、対面での面接練習に加え、オンラインでの面接を想定した模擬面接を実施。

オンラインでの面接練習の様子を、面接官目線のカメラで撮影し、録画した動画を職員とともに振り返り、自身による「気づき」を促した上で、アドバイスを実施。

<オンライン模擬面接の主な流れ>

趣旨説明 → 入退室の方法や目線、座り方、口調などの留意点をアドバイス

面接練習開始 → 動画を見て振り返り → 意見交換 → 総括

<令和2年度実績> 面接対策セミナー参加者7名 就職者1名

己を知り 己に気づき 己を磨く。

面接対策塾 開校

個別対応

オンライン
面接対応可

3密防止
対策有



利用者の声

- ・ 久しぶりの求職活動で、面接に不安があったため参加しました。自身の動画を見ることで改善点が見えました。本番に向けて対策したいと思います。(40代女性・事務希望)
- ・ 自身が面接をしているところの動画を見る機会はなかった。自信が確信に変わった形になり、今後の面接に活かせると思う。(50代男性・営業希望)

今後の展開

セミナーを実施する中で見えてきた「オンライン面接で気をつけるべき箇所」をまとめたリーフレットを作成・配付するなど、求職者のオンライン面接への苦手意識解消に役立つ取組に繋げていくことを予定している。